

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.168

2016年2月22日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通 4-10-8

オリジナル miso soup を作ろう！

外国語教育部会が、篠山市の小学校において授業研究会をおこないました。5年生の外国語活動の時間で、単元名は「オリジナル miso soup を作ろう」でした。

本時は「野菜の語彙や買い物をするときの表現に親しみながら、外国語やジェスチャーを使って積極的に尋ねたり答えたりして、具材の買い物をすること」をねらいとして授業展開されました。

授業者からは、5年生の児童が自信を持って発表できているのは、終わりの会で毎日5分間ずつ、単語や簡単な会話表現を復習している成果であること。フォニックス (注1) についてはCDを使って4文字ずつおこなってきたこと。本時では、今持っている語彙を使って楽しみながら買い物ができていたこと等が発表されました。

研究協議では、文字指導については、書いて覚えることだけを要求すると子どもたちは嫌いになってしまうので、例えば「A」というアルファベットを身体で表現したり、友だちの手にアルファベットを書いて伝言ゲームしたりして慣れ親しむことから始めてはどうか等の意見が出されました。また、外国語活動では、例えば「I like ~.」という文では「アイ・ライ」というように、最後の「ク」の発音が抜けたまますすめられることが多いが、教員は「ク」を意識的に発音するとともに、口の動きや舌の位置についても確認しながら指導することが大切ではないか。早く発音しようとするとう抜けてしまうことが多いので、ゆっくりでも正しく発音することを教えようという意見が出されました。

(注1…フォニックスとは音声学的解釈に基づき、綴りと発音の関係を語学初心者に学ばせる指導法)

共同研究者からは、

- ・授業者の日本語と英語の使い方バランスが絶妙だった。説明を母語ですることによって、子どもたちが安心して活動できていて、しかも、内容について深く考えることができていた。
- ・誰にどのような味噌汁を作るのかというねらいを意識させることで、英語を使つての買い物が「ごっこ遊び」ではなく、目的を持ったものとなっていた。

などの助言がありました。

本時の授業だけに限らず、参加者の日々のとりくみを幅広く交流し、外国語教育について考えることができた授業研究会となりました。

(本授業の指導案等は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各支部へお問い合わせください)

外国語教育部会授業研究会

